

【十日町市博物館】

十日町（とおかまち）市博物館は 1979 年に設立され、十日町と信濃川（しなのがわ）流域の歴史を織り交ぜた 3 つのゾーンに大別される。コレクションには 7,000 の重要有形民俗文化財が含まれており、そのうち 928 が国宝に指定されている。2020 年 6 月、博物館は新しい建物に移転した。

笹山（ささやま）遺跡コレクション

笹山遺跡では、1980 年から 2013 年の間に出土した縄文時代（紀元前 14,000～350 年）の遺物が展示されており、中には、新潟県全域で初の国宝に指定された「火焰型」土器も含まれている。

織物用具コレクション

十日町地区の織物の歴史は、縄文時代にまで遡る。布の痕跡は信濃川流域で発掘された土器の土台で発見され、この種の発見では日本で最も古いものにあたる。このコレクションでは、カラムシの繊維から作られた越後縮（えちごぢぢみ）の製造に使用される技術と道具も紹介されている。

雪国用具コレクション

十日町地区では、毎年平均 2 メートル近くの雪が降り、日本有数の豪雪地帯である「雪国」の一部として知られている。この展示では、この過酷な環境で日常生活に使用されてきた伝統的な衣服、食、住居、道具を紹介している。